

早雲だより

2023.7.23

第160号

歴史グループ早雲

代表 井上一夫

第二七六回 歴史ハイキング 報告

《平城宮跡歴史公園》を訪ねる

2023年5月28日(日)

はじめに

例会当日は、梅雨入りの直前の好天に恵まれましたが、暑い一日となりました。近鉄大和西大寺駅に集合し、平城宮の概要説明の後、参加者25名で出発しました。

今回のハイキングは歴史グループ早雲スタッフの金澤さんと原田さんに案内していただきました。(準備に尽力していただいた入江さんは所用のためご欠席)

本日散策する平城宮跡は、奈良時代(710~784)の官庁街で、天皇のお住まいもありました。その周りは平城宮で執務する役人の居住場所などの都市部です。位の高い貴族などが平城宮に近い場所に住んでいました。

「平城宮」とは、元明・

元正・聖武・孝謙・淳仁・称徳・光仁・桓武の諸天皇の宮城。宮域は平城京の北端中央を占め、一辺が約1.1キロメートルの方形の主要部と、その東側に東院と呼ばれる東西約0.3キロメートル、南北0.8キロメートルの張り出し部がついています。

この時代、律令制によって中央集権体が整えられました。二官(太政官・神祇官)・八省(大蔵省・宮内省)が置かれ中央官制が整う。都には、貴族・下級官人1万人以上で、平城京の人口は10万人以上いたとみられる。当時の全国人口は600万~650万人前後であったらしい。

散策コース

大和西大寺駅前~平城宮跡資料館~第一次大極殿~遺構展示館前広場(昼食)~東院庭園~朱雀門(ひるば)~いざない館~(へるこ)バス)~大和西大寺駅

左図は平城宮跡資料館でいただいたスタンプラリーです。平城宮跡資料館から散策コースの通りぐると朱雀門まで歩きました。

要所にはボランティアガイドさんがおられて説明をしていただきました。

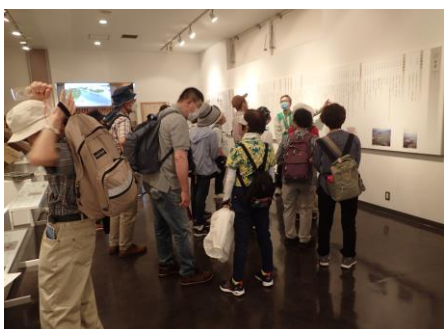


広大な平城宮跡を歩く前に「平城宮跡資料館」で予備知識を吸収しました。

館内は地下の正倉院といわれる木簡やそのほかの出土品や平城宮全般が分かりやすいように展示、解説されておりました。



(写真) 平城宮跡資料館



(写真) 平城宮跡資料館
次に「第一次大極殿」に向かいます。



(写真) 第一次大極殿

大極殿の高御座側から南を見ると広場から大極門(南門)が見渡せました。かつては元日朝賀が行われました。

第一次大極殿から内裏跡を横切の南に第二次大極殿跡を見ながら遺構展示館に向かいました。

大極殿が一次と二次がある説明です。聖武天皇は平城宮から都を740年から745年までの5年間、恭仁京・難波京・紫雲楽宮と移しました。平城宮に戻った時に、理由はわかりませんが元の場所から東に大極殿を建てました。そこが第二次大極殿です。

「遺構展示館」前で昼食にし、遺構展示館は自由見学にしました。

「遺構展示館」は発掘調査で検出された遺構そのものを覆屋(おおいや)と呼ばれる保護施設の中で保存・展示しています。また、調査研究を基に復原した内裏などの建物模型もあります。

(写真) 第一次大極殿
第一次大極殿は西暦2010年に完成しました。大極殿内部には高御座が置かれています。高御座は天皇用が一つだけおかれていました。



(写真) 遺構展示館



(写真) 宮内省

遺構展示館から「東院庭園」へ向かいました。

「東院庭園」は、称徳天皇の時代に宴会や儀式を催した庭園を復原したもので、平成10年4月に完成し、

公開されています。長年の研究成果をもとに復原されており、奈良時代の有様を偲ばせてくれます。



(写真) 東院庭園

東院庭園から平城宮社紀碑を経由して朱雀門を目指しました。平城宮の広大さを味わいました。



(写真) 平城宮社保存記念碑

(写真) 朱雀門と朱雀大路
朱雀門から南に朱雀大路が復原されています。



朱雀大路は幅74m・羅城門から朱雀門名で3.7kmありました。

我々はいざなぎ館と遺唐船の復原を見学して、ぐるっとバスで大和西大寺駅に向かいました。

平城宮跡はこれからも発掘調査が続けられることで新しい発見もあるでしょう。復原も続けられるようです。また、来たいと思います。暑い中のハイキングになりました。皆様お疲れ様でした。ありがとうございます。

一口感想

K・M

とにかく広大な敷地に、
壮大な大極殿、南門、朱雀門が立ち並び、そこから道幅74メートルの朱雀大路が延びているのを見ました。これからも復元工事が進み、すべて完成して「平城宮」が蘇るのは40年先と聞き、とても見ることは叶いませぬが、平城宮跡歴史公園として、そこに奈良時代が現出するのを想像するだけでも、さらに世界遺産としても素晴らしいと思います。奈良時代の木樋や、発掘された数々の物を今、目にすることができるのはスゴイことで、携わっている方々の熱い思いを感じました。解散後の二次会でのビールの美味しかったこと！お世話下さった皆様、有難うございました。

(20230528)

◇◇◇

M・O

今回は参加できなかったの
で、本日の平城宮跡歴史公園のハイキングは、ご案内状が届いたときからとても楽しみでした。実際に歩いてみて想像以上の広さ、景色に感激しました。特に遺構展示館は良かったです。露出展示という方法も、当時のよすがいろいろと想像できて迫力がありました。ほとんど人手（人力）で造られたと思うと「すごい！」の一言です。東院庭園も美しかったし、参加できてうれしかったです。企画・案内してくださった皆さま感謝です。

◇◇◇

Y・M

今まで平城京遺跡には数回行っている。初めて行ったのは1988年のシルクロード博だった。この頃は、第二次大極殿のあととシルクロード博関連の建物がある程度だった。ただシルクロード博が大幅に復元されていくきっかけ

になったのだろうか。2000年代に訪れたときは、

第一次大極殿が復元されていた。そして今回また様子が変わっていた。ガイドさんの話を聞いていると今後さらに発掘と復元が進みそうだ。次回、訪れるときはどのような姿を見せてくれるのだろうか？

今回の平城京はさらに進化した？といく遺跡だった。

◇◇◇

H・M

青丹によし奈良の都は咲く花のにほひがごとく今盛りなり

広大な宮跡に、大一次大極殿・朱雀門・大極門・東院庭園等々復元された壮麗な宮殿、悠久の歴史を彷彿とさせる平城宮跡。

「古都奈良の文化財」として、世界遺産に登録されたが、この復元に尽力したのが、学者でもなく社会的な名士でもない一介の庶民で植木職人だった「棚田

嘉十郎」で、明治二十年頃

平城宮の位置が発見されても保存されなかったために、保存の必要性を強く感じ、私財を投じて生涯保存活動に努めた。最後は悲しい運命となりましたが歴史公園として整備され、往時には存在したであろう壮麗な宮城、栄を極めた皇族の暮らしなど垣間見ることが出来るのも、「棚田 嘉十郎」のおかげと敬服するところ

です。

今日の宮跡探訪で、もっともっと彼の行為を顕彰してほしいと、ひしひしと感じました。

◇◇◇

T・K

行ってきました平城京、今まで数回行っていましたが、一人でうろろろするよりもみんなでワイワイ言いながら見て回るのでは楽しみが違います。

以前よりもボランティア解説の方も多く、訪れるた

びにより理解が深まったように思います。ただ、ボランティアの方にも少し意見にばらつきがあるのも事実かと。

懇親会、予想とずいぶん違っていました。楽しかったです。

お世話になりました。ありがとうございました。

【編集後記】

「平城宮跡歴史公園」に圧倒されました。復原建物や展示品の数々、何度来ても見飽きることがありませんでした。

早雲たよりに見学場所の解説をもう少し入れようと思いましたが、各施設で配布される資料で十分なので止めました。参加されていない方で興味のある方は、この早雲たよりを参考に平城宮散策を楽しんでいただければ幸いです。